



## 第17回 青少年長崎平和使節派遣

品川区では、核兵器の廃絶と恒久平和の確立を願い、昭和60年3月26日に、区民の総意のもとに「非核平和都市品川宣言」を行いました。本区が取り組む「非核平和都市品川宣言事業」の一環として、「青少年長崎平和使節派遣」を行っています。今年度も被災地である長崎に一般公募の青少年6名を派遣しました。

主催：品川区総務部総務課

(電話)03-5742-6625

(メール)somu@city.shinagawa.tokyo.jp



### 青少年ピースフォーラムへ参加します

#### ～メンバーとの出会い・事前学習会～

##### 第1回事前打ち合わせ会 令和元年6月25日 品川区役所内会議室

①自己紹介、②参加動機の発表、③「非核平和都市品川宣言」事業の説明、④「青少年長崎平和使節派遣」の目的説明

##### 第2回事前打ち合わせ会 令和元年7月19日 品川区役所内会議室

①「平和の祈り鶴」受領、②自主研修の検討、③自主研修計画書の提出、④スケジュールの最終確認、⑤ピースフォーラム事業の説明、⑥派遣報告書の説明



事前学習会

### 青少年ピースフォーラムへ参加しました

#### ～事後報告会～

##### 事後報告会 令和元年8月21日 品川区役所内会議室

①派遣の感想・反省発表、②成果報告書の説明、③青少年ピースフォーラム修了証書および派遣修了証書授与、④非核平和都市品川宣言35周年記念式典での派遣生による成果発表の説明



フィールドワーク

#### 【派遣者の感想】

- ・被爆体験者のお話から、今、ここで被爆したらと考えさせられました。家族が亡くなってしまったこと、原爆の大きさを言葉で言い表せない程の威力、胸が痛みました。
- ・この派遣で戦争の恐ろしさや平和の大切さを学び、この戦争の怖さを伝えなければならないと思いました。理由は戦争について、軽く思っている人が居て、犠牲になってしまった人々の命を無駄にしてはならないからです。
- ・長崎原爆資料館の映像資料で、外国人捕虜の方で被爆したにも係わらず、日本兵から虐待を受けており、原爆に賛成だと言っていました。私は原爆ではなく、戦争そのものが悪いことだと思います。
- ・戦争は「あたり前」をあたり前でなくしてしまう、多くの人々の未来を奪ってしまう恐ろしい武器で、これらを使わせないためにも、戦争は絶対にするべきことではないと思いました。
- ・今まで知っていた長崎の原爆に関する知識を深められただけでなく、色々な視点から学ぶことが出来ました。また現在の長崎が原爆を乗り越え、伝え続けながら在ることを実感できました。



自主研修

### その後の平和活動の広まり

#### ～派遣者が参加した平和イベント～

- ・令和2年3月中旬以降、下記URLに「平和使節派遣レポート」を掲載予定  
<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000000700/hpg000000627.htm>
- ・令和2年3月28日「非核平和都市品川宣言35年記念式典」を開催予定
  - ①平和とスポーツに関するパネルディスカッション、②中学生広島・青少年長崎平和使節派遣生による報告、③映画上映



事後報告会